

私にできる命の守り方

柏市ゲートキーパー新聞

発行
令和7年11月
柏市福祉政策課
04-7167-1131

基礎・実践を学ぶ研修開催

生きることがつらくなるほど悩んでいる人に寄り添う「ゲートキーパー」を養成する研修が開催される。

ゲートキーパーとは、「気づく」「声をかける」「話を聴く」「必要に応じて相談窓口等につなぐ」「見守る」の5つの行動で悩んでいる人に寄り添う存在だ。資格や職業ではない。意識と行動で誰もが担うことのできる役割であり、相談業務に

あたる専門職のみならず、広く市民にゲートキーパーの意識が浸透することによって命を救われる人が増えると考えられている。

その理由として、悩みをひとりで抱え込んでいる人が少なくない現状がある。その人たちが自ら相談行動を起こすのを待つのではなく、身近で異変に気づいた人から声をかけて対応することで、早い段階で必要な支援へとつながることが出来るのだ。身近な人だからこそ「いつもとちがう」その異変に気づくことが出来るであろう。



今回、「基礎・実践編」と題し、ゲートキーパーとしての心構えや基礎知識、悩んでいる人への対応方法などを学ぶ研修を12月14日にアミューゼ柏にて開催する。

子どもの命を守る法改正

知っておきたいニュース

子どもの自殺対策に社会全体で取り組むと明記した改正自殺対策基本法が、令和7年6月5日に衆院本会議で可決・成立、令和8年4月から施行される。

令和6年に小中高生の自殺者数が529人と過去最多を更新するなど、子どもへの自殺対策が深刻な課題となっている。今回の法改正により、AIなどのデジタル技術の活用、学校での心の健康を保つための保健指導、その他にも改正によって様々な施策が講じられることに期待が寄せられる。



ゲートキーパー研修情報

柏市では、年に5回程度、市民や支援者に向けて、様々なテーマでゲートキーパー養成研修を開催している。「身近で悩んでいる人がいた時に、どう寄り添えばいいかが分かった」など、参加者から多くの反響が届いている。

最新の研修情報は、市の公式ホームページにて。



柏市 ゲートキーパー



対応を疑似体験出来るロールプレイもあり、過去に開催した際も好評を得ている。企画にあたった柏市福祉政策課の職員は次のように語った。
「身近に悩んでいる人がいた時に何が出来るのか。知ること出来ることからあります。ゲートキーパーについて初めて学ぶ方も、実践的な研修を希望される方もぜひご参加ください。」



二次元バーコードを読み込むと申込フォームが立ち上がります
必要事項を入力送信してください

《ゲートキーパー養成研修基礎・実践編》
日時：令和7年12月14日（日）
13時から16時（開場12時30分）
会場：アミューゼ柏（柏市柏6-2-22）
定員：先着60名・無料（どなたでも）
講師：NPO法人ゲートキーパーTOWNARIINO 菊池達樹 先生
主催：柏市福祉政策課
申込：令和7年11月1日～12月10日まで
左の二次元バーコードもしくは柏市ホームページ「ゲートキーパー研修情報」内の申し込みフォームより受付中